

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第4回益田市総合振興計画審議会
開催日時	令和7年12月4日（木）15：30～16：50
開催場所	市役所本館3階 大会議室
出席者	[審議会委員] 寺田哲志委員、竹内直実委員、細木聖師委員、伊藤綾子委員、梅津富美子委員、澄川聡美委員、原田笑委員、上床絵里委員、横田洋人委員、福井英樹委員、三浦凧委員 [事務局] 益田市 長嶺政策企画局長、齋藤政策企画課長、堀江課長補佐、吉田主任主事 コンサル ランドブレイン株式会社
議題等	(1)後期基本計画策定素案について ①後期基本計画の素案の修正について ②各基本施策の代表的な目標指標の設定について (2)今後のスケジュールについて
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	政策企画局政策企画課 電話 0856-31-0121

審議経過

1 開会
2 議題審議（議題(1)～(2)）
3 その他
4 閉会

議題

(1) 後期基本計画策定素案について【資料1】	
委員	94～95 ページ（基本目標Ⅳ－基本施策2）の萩・石見空港に関して、来年3月に三隅・益田道路が開通する予定となっており、空港まで一本でつながるので、何か石見での利用をもう少し増やすような表現を追加していただきたい。
事務局	確かに山陰道が3月末までのところで開通する予定となっているので、浜田・三隅方面からの利用も期待できる。担当課にも盛り込めるか確認する。
委員	自動運転に関して（基本目標Ⅳ－基本施策2）、自動運転だけじゃないと思うが、今の計画だと5年後の益田の交通事情はあまり変わってないと思う。書いたら出来る訳ではないが、出来ることしか書かないのでは、計画の意味が無いように思う。何かやってみたいことや、改善ができそうなこと、チャレンジしたいことも含めて記載されると良いのではないかな。
事務局	どこまで踏み込めるか分からないが、検討する。
委員	県内他市が自動運転の実証実験を行っているので、できないことはないと思う。県西部で1番先進的な取組をしているのが益田になればという期待があるので、頑張ってもらいたい。

委員	119 ページ（基本目標Ⅵ―基本施策 4）に追加した KPI 「～市内に設置された相談窓口を訪れた市外在住者数」と上段の「移住相談者数」との関係性は何か。
事務局	「移住相談者数」というのは、東京・大阪での相談会や移住相談フェアでの受付を想定している。「～市内に設置された相談窓口を訪れた市外在住者数」は、それを受けた人も含めて、益田市に実際に来て相談された方となる。
委員	何かすぐ見て分かる表現にした方が良いと思う。
委員	95 ページ（基本目標Ⅳ―基本施策 2）の KPI で「地域の公共交通の検討に取り組む地区数」とあるが、具体的に何を検討するのか。
事務局	自治会や地域自治組織において、公共交通について話合いの場を設定している若しくは自治会輸送に取り組んでいるものを想定している。
委員	その参加者は住民の方か、それとも公共交通機関の方が参加して具体的な話をする場となるのか。
事務局	基本的には自治会や地域自治組織においての話合いの場となるため、地区住民の方がメインになるかと思う。自治会輸送に取り組んでいる地域であれば、市のほうから相談や助言に出向いている。
委員	話し合いだけでは解決しない問題だと思う。話し合いも大切だが、自動運転のような次の戦略が非常に大事だと思うので、そういったことをしっかりと戦略として持っていた方が良いと感じた。
事務局	この部分は少し分かりにくい部分であるが、今、各自治会において、色々な議論がされている状況である。 買い物に行きたくても、地域からなかなか出にくいという部分を、自治組織や自治会で車を準備し、無償で乗せて色々な所へ行くという取組が全国的に盛り上がり始めている。 益田市内でも五つの地区において、自分たちで車を準備して、求めに応じて買物に連れ行ったり、病院に連れて行ったり、あとは福祉の関係でいくと、介護認定を受けている方を福祉施設まで連れていくということも、自分たちでやるという地区が現在二つか三つの団体でやっている。 幹線道路に出るまでのところ、あるいは幹線に出ても公共交通に乗り継ぐのではなく、住民たちが無償で色々な対応をしていくというような取組が始まっているところや取組を考えているところが今現在 12 地区ある。 あるいは、乗り合いタクシーの利用状況ももっとこうしたほうが良いなというような議論を始めているところもある。 そういう地区もあるというところで 12 地区から増やしていきたいというところであるが、表現的にどうなのかというのがあるので、少し検討させていただきたい。
委員	76 ページ（基本目標Ⅲ―基本施策 1）の KPI 「新規就農者数」について、自営就農と雇用就農の両方を含めた数値だと思うが、その辺りの表記を分かりやすくしたら良いと思った。 また、前回意見を出した「アユ流下仔魚数」について、どういうものか具体的に教えてほしい。
事務局	アユの件は担当課に確認を行った。この数値は、ある時点におけるスポット調査をもとにした推計値となっており、放流のみでなく、遡上も含めた数値となる。また、目標値については、国が定めた数値と合致させている。
委員	60 ページ（基本目標Ⅱ―基本施策 1）の KPI が子どもに対するアンケート調査ばかりで漠然としているという話を前回させてもらったが、担当課の意見はどうだったか。計画の中には教職員の働き方改革についても記載があるので、先生への意識調査も盛り込んだ方が良いと思うがどうか。
事務局	子どもへの支援を行い、子どもがどう変わったのかという視点で KPI を設定したものになる。支援そのものを KPI 設定する予定は今のところないが、先生への意識調査については担当課へ投げかけてみる。
委員	81 ページ（基本目標Ⅲ―基本施策 3）に KPI として「拠点可能性を調査する IT 関係企業数」とあるが、IT に限っている理由は何か。

事務局	80 ページにもあるように、今後、益田市では IT 産業の集積に取り組んでいく方針であるため、それに関連したものになる。県の西部高等技術校で IT 人材の養成も視野に入れており、その卒業生が就職できるようなところも踏まえて設定した。
委員	80 ページの具体施策 2 に該当する KPI は「島根県立地計画認定企業数」という認識で良いか。新規企業の立地促進についての目標値を確認したい。
事務局	具体施策 2 に関する KPI については、その認識で合っている。認定された企業がファクトリーパーク等に進出するということで、今後 5 年間で 5 社を目指している。
委員	69 ページ（基本目標Ⅲ—基本施策 5）にある KPI「給食食材の～授業等の実施回数」の目標値：6 回/年について、カウント方法を教えてほしい。
事務局	担当課に確認できていないが、恐らく市内全体の学校の中で年 6 回、地元生産者が学校を訪れて説明をするというイメージである。
委員	そうであれば令和 6 年度においても、市内の生産者が各学校で説明をしている実績があるはずなので、その辺りも示した方が良いと思う。
事務局	いただいた意見の市内生産者が行っているものは、給食を食べる前に色々な話をしている取組だと思われる。今回、KPI で設定したものは、授業の一環として取り組むものである。授業のコマを年間通じて調整しなければならないため、6 回できるかという点はあるが、栄養教諭が色々やっていく形だと考えている。 給食を食べる前の生産者からの話は、含まれていないと思うが確認する。
委員	授業の一環のものと給食を食べる前のものは、目的や意図が同じなのでその辺りの整理をして KPI に反映していただくとありがたい。
委員	この取組については、同じ年代の子が全員聞けるようなものとしてほしい。
委員	95 ページ（基本目標Ⅳ—基本施策 2）の KPI で「地域の公共交通の検討に取り組む地区数」とあるが、地区を増やすことが目標ではなく、困っていることを解決するのが大切だと思う。
委員	この計画は 5 年間引っ張っていくとのことだが、IT 系の業界は 5 年経つと全く違う状況になる。5 年間引っ張ることは、マイナスな気がするが途中で見直す可能性はあるか。
事務局	大きな見直しは 5 年後となるが、KPI の進捗などについては、PDCA サイクルで、総合戦略審議会にて毎年進捗管理や取組の改善に向けた意見をいただいております。今後も取組の改善等を行っていく予定。 また、今回示した計画についても、同様の形で必要に応じて対応をしていくものである。
委員	目標を立ててみたが、やる意味がなくなった時や、別の方向に課題が出てきた場合に、この会議体でなくて、特定の項目について声掛けがあったりするのかな。
事務局	全件といかないが、総合戦略という総合振興計画から人口対策等を抜き出した KPI について、毎年、総合戦略審議会を開き、審議いただくことになる。
委員	代表的な目標数値を今後決めるとあったが、いつ頃決める予定か。
事務局	12 月中旬までには決定し、12 月下旬には委員の皆様を示したいと考えている。
委員	選ばれた KPI が特に重要な KPI になるのか。
事務局	各基本施策に最もマッチしたものを選びたいと考えている。 他の KPI については、計画から外れるということではなく、代表的な KPI と合わせて、計画の巻末にまとめて掲載する。
委員	島根県の創生計画も今年から新しくなり、そちらでも人口を減らさないという目標を掲げている。各市町が人口を減らさないと思わないと達成は難しいと

	<p>思う。</p> <p>5年後に10年の計画を作ることになると思うが、人口について重視し施策を体系的にやっていかなければ厳しいと思う。この5年間の中で準備しながらやっていただきたい。</p>
事務局	<p>136ページ（総合戦略：益田市の将来推計人口）に今後の推計人口を示している。島根県の創生計画でも示されている2045年までに合計特殊出生率：2.07を踏まえた推計値が上段のグラフとなり、ここを目指して頑張っていきたい。</p>
委員	<p>益田市に住むにあたって何が大事かということ若くは若い人に聞くと、1番に教育水準、次に医療体制ということであった。計画は広範囲に係れているが、そういった点に極端に注力しないと人口問題は難しいと思う。</p>
委員	<p>基本目標にも順番があるように思う。仕事がないと人は来ない。人が増えたら、その人たちが暮らしやすい街にするというようなことを思っており、重点的なものを明確にするのも良いのではないかとと思う。</p>
(2) 今後のスケジュールについて【資料2】	
委員	<p>具体的に答申当日の流れを教えてください。</p>
事務局	<p>前半では今日以降で変更になった部分を説明させていただき、その後、審議会内で採決をし、市長への答申に移る予定である。</p>
3 その他	
委員	<p>今回、アンケートをベースに色々なことが始まったと思うが、アンケートの内容や重みづけなど、本当はその辺りからきちんと設計すべきだったと思う。次回は5年後になると思うが、その辺りのステップを見直してほしい。</p>
4 閉会	

以上